

都道府県番号	30
都道府県名	和歌山

()

・学校名及び規模

印南町立清流中学校							
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数	
学級数	1	1	1	0	3	10	
生徒数	34	31	39	0	104		

・実践研究の概要(主題(テーマ)及び設定の趣旨)

<p>・主題(テーマ) 習熟度別授業の導入と評価規準に基づく授業づくりをめざして</p> <p>・テーマ設定の趣旨 本校は、2中学校の統合によって平成11年度に開校した学校である。小規模の4小学校から入学してくる生徒たちは明るく素直で、何事にもまじめに取り組むなど長所が多い。 学習面でも、まじめではあるが、生徒一人一人の学習状況において大きな個人差が見られるのが現状である。従って、本校のすべての生徒が主体的な学びと確かな学力を身に付けるようにするためには、指導体制や授業形態の工夫改善、教材の工夫等を図ることが必要であると考えます。 以上のことから、個人差に対応するため、数学科と英語科で習熟度別授業を導入し、基礎的・基本的な内容が確実に身に付くよう手だてを工夫したり、個々の学習がより広まり深まる教材の工夫等を行い、指導の充実を図っていききたい。また、各教科において生徒一人一人の学習到達度を1単位時間ごとの評価規準に基づいて分析的に評価し、必要に応じてできるだけ早い段階で手立てをし対応する。また、生徒自身には自己の学習状況をよく見つめさせ、自分に適した学習を自ら選択するという主体的な学習を促すとともに、自分の判断を信じて、自信を持って学ぶことにより、学力を自分で高める生徒を育成していききたいと考えた。</p>

・実践研究の内容について

- () 研究体制の工夫
 - ・企画委員会(教頭・教務・研究主任・生徒指導)で研究推進の原案を立て、現職教育において全職員で詳細を検討し、すすめていく。
 - ・全教職員の共通理解を図るため、6教科において取り組む。
 - ・「指導方法の工夫改善に係る研究会」や「指導と評価に関する研修会」等へ積極的に参加する。
- () 実践研究の内容
 - 国語科・社会科・数学科・理科・英語科・保健体育科の6教科において
 - ・3年間を見通した年間指導計画を作成する。
 - ・1単元に重点をおいて「評価規準」と「指導と評価の計画」を作成し、それを基にして指導方法・指導体制と評価方法を工夫改善する。【資料】
 - ・「指導と評価の計画」を基にして、それをより具体化した1単位時間ごとの授業内容と、あらかじめ考えた教材や確認テスト、補助プリントなどの内容を示した単元の一連の展開を示す指導案を作成した。【資料】
 - ・1単位時間ごとの評価規準に基づいて、生徒一人一人の学習到達度を分析的に評価する。
 - ・生徒一人一人の観点別学習状況を評価規準に基づいて把握し、特に「努力を要する」と判断される生徒への対応・手立てを工夫する。【資料】
 - 中心教科である数学科と英語科の2教科において、習熟度別授業を取り入れる。
 - ・習熟度別授業の「基本コース」と「普通・発展コース」において、生徒の学習活動を活性化できるよう教材・教具の開発と評価方法についての実践的研究に取り組む。
- () 成果と課題
 - [成果]
数学科で研究した単元「図形と相似」では、平均点が大幅に向上した。また成績下位の生徒が減少し上位の生徒が増加していることが分かった。これらのことから、「評価規準」と「指導と評価

の計画」に基づく授業や習熟度別授業を取り入れて指導したことが、効果的であったと考えられる。

数学科・英語科以外の教科(国語科・社会科・理科・保健体育科)でも、「評価規準」と「指導と評価の計画」を作成し、それに基づく授業づくりを図った。その結果、全職員で研究主題に沿った取組をすすめていくことができた。

習熟度別授業について、「生徒の意識調査」を行った結果、多くの生徒は肯定的・好意的に受け止めているといえる。また、生徒の習熟度別授業のコース選択や学習意欲の状況を見ると、自分の学習状況をよく見つけ、自己分析する力がついてきていると考えられる。

〔課題〕

レディネステストを作成・実施し、生徒一人一人のつまずきや既習内容の定着度を把握・分析することで、個に応じたきめ細かな指導の在り方を明らかにしていくことが必要である。

これまで取り組んだ指導方法や評価方法・指導形態を検証し、単元や学習場面の特質をさらに見極めながら、より生徒一人一人の学力向上につながる有効な授業形態を明らかにしていくことが必要である。

・成果の普及方策

平成 14 年 11 月 19 日「学力向上フロンティア事業 1 年次研究発表会」を実施し、公開授業及び研究協議を行った。

HP の開設予定。

数学科学習指導案

【資料】

指導と評価の計画（3 年「図形と相似」）

次 時	ねらい・学習活動	単元の評価規準との関連		「努力を要する」と判断された生徒への対応・手だて	評価方法等
		「おおむね満足できる」と判断できる状況... B	「十分満足できる」と判断される視点... A		
1	ねらい 相似の意味と性質・相似比について考え、見いだすことができる。 ・身の回りの相似な図形に興味をもち、その意味を知る。 ・相似な図形の性質を見いだす。	ア - 相似な図形に関心をもち写真や設計図など、身の回りに多くの相似な図形を見いだそうとしている。	アについて 身の回りの相似な図形を見付けようとする積極的な態度が見られるか。	アについて 相似な図形について、机間指導等でもう一度説明する。	授業中の発言やノートなどで、生徒の様子を確認する。
		イ - 相似な図形の辺の長さや角の大きさについての性質を考え、見つけることができる。	イについて 合同が相似の特別な場合であることに気が付き、辺の長さや角の大きさについての性質を見いだすことができるか。	イについて 補助プリントなどを利用し、課題を与える。	ノート点検により、生徒が正しく理解できているか確認する。(P95の図参考)
2	・相似比を使って相似な図形の対応する線分の長さを求める。	ウ - 相似な図形の対応する角の大きさや対応する線分の長さを、相似な図形の性質を用いて求めることができる。	ウについて やや複雑な図形の場合においても、相似な図形の対応する角の大きさや対応する線分の長さを求めることができるか。	ウについて 補助プリントなどを利用し、課題を与える。	補助プリントやノート点検により生徒が正しく理解できているか確認する。(P99)
		エ - 相似な図形の性質・相似比について理解している。	エについて 相似な図形の意味と性質・相似比について理解しているか。	エについて 補助プリントなどを利用し、課題を与える。	小テストを行い、その結果を点検する。(の記号とP99 類題)

次時	指導形態	学習活動	評価・配慮事項
7	少人数指導	<p>【課題】2つの線分 AB と CD が点 O で交わっていて $AO=2CO, DO=2BO$ ならば、 $\triangle AOD \sim \triangle COB$ であることを証明しなさい。</p> 	<p>イ - 課題 A... 仮定や既習の図形の性質を用いて、相似の証明が説明できる。 B... 2組の辺の比とその間の角の等しいことが見つけれられた場合。</p> <p>【補助プリント】 $AO:CO=(): (), DO:BO=(): ()$ 2組の辺の比が等しいことが言えたので、その間の角にあたる等しい角はどれか。</p> <p>ウ - P105 の問題 A... 相似の証明問題を、自分で証明でき記述できた場合。 B... 相似の証明の根拠になる2組の辺の比とその間の角の等しいことが見つけれられ記述できた場合。</p>
8	習熟度別指導	<p>【課題】右の図で $\triangle AED \sim \triangle ABC$ であることを証明しなさい。 また、辺 BC の長さを求めなさい。</p> 	<p>ア - 課題 A... 相似条件を証明の根拠として、図形の性質を自分で積極的に証明しようとしている。 B... 図形の性質を積極的に証明しようとしている。</p> <p>エ - 小テスト A... 相似の証明を問う小テストの(1)で的確に証明でき、(2)も答えられた場合。 B... 相似の証明を問う(1)の証明のうち辺の比が等しいことや角が等しいことを記述でき、(2)に答えられた場合</p> <p>【小テスト】次の図のような三角形があります。 (1) $\triangle ABD \sim \triangle ACB$ を証明しなさい。 (2) BC の長さを求めなさい。</p>  <p>【補助プリント】次の〔 〕に数や記号を入れなさい (1) $\triangle ABD$ と $\triangle ACB$ で 仮定より $AB:AC = [] : [] = [] : []$ 仮定より $AD:AB = [] : [] = [] : []$ よって $[] : [] = [] : []$... 共通だから $[] = []$... より、$[]$ (2) $BC : [] = [] : []$ これを x について解くと $x = []$</p>

『図形と相似』の単元での評価の実際

観点氏名	関心・意欲・態度				見方・考え方				表現・処理				知識・理解					
あ	B	B	B	A	B	B	B	CB	B	B	C	B	CB	B	B	B	A	A
い	B	B	A	A	B	B	B		A	A	A	B	A	A	A	B	A	A
う	A	A	A	AA	A	A	A	A	A		B	A	B	A	B	A	A	A
え	A		A		A	B	A	B	A	A	A	B	A	A	A	B	B	B
お	CB	B		A	CB	B	B	B	A	B	B	B	A	B		A	CB	A
か	A	B	B	A	B	A		A	A	A	A	B	A	B	A	A	A	A

注) 空欄は、「おおむね満足できる」状況(B規準)と判断される状況であるが、「十分満足できる」と判断される視点(A規準)との判断が付きにくい場合を表している。